

【淀川左岸線延伸部の淀川左岸堤防区間に関する技術検討委員会 第2回委員会における主な意見に対する対応方針（案）】

項目	主な意見	対応方針(案)
検討項目および検討手法の明確化（案）について	<p>圧密沈下の検討では、土一水連成2次元弾塑性解析による詳細な照査手法を提案しているが、1次元圧密解析のような簡便な照査手法を併用することで、結果に対して、大局的な視点での評価を加えていくのが良い。</p>	<p>ご指摘を踏まえて検討を進め、次回以降の委員会にて報告する予定です。</p>
	<p>土一水連成2次元弾塑性解析の結果により、必要に応じて縦断方向の検討も実施すること。</p>	
数値解析における計算断面の選定（案）について	<p>今回整理した断面選定の考え方が適用できる構造条件等の範囲を整理することで、条件変更が生じた場合でも、その安全性評価に対応できるようにしておくのが良い。</p>	<p>断面選定の考え方が適用できる構造条件等の範囲について、今後の検討を踏まえて整理し、次回以降の委員会にて報告する予定です。</p>
	<p>堤防および道路構造物の一体構造としての安全性について整理を行ってきているが、道路構造物単体としての整理の位置付けについても表現しておくのが良い。</p>	<p>道路構造物単体としての整理の位置付けについて、検討をとりまとめる段階で、明記する予定です。</p>